

露伴全集

第三十二卷



露伴全集

第三十二卷

牧製本

露伴全集第三十二卷

頒價九百五拾圓

昭和三十三年八月五日印刷
昭和三十三年八月十日發行

著作權者

幸かち

田だ

文あや

編纂

蝸くわい

牛ぎう

會くわい

發行者

東京都千代田區神田一ツ橋二丁目三番地
岩波雄二郎

印刷者

東京都青梅市根ヶ布三八五番地
山田一雄

印刷所

東京都青梅市根ヶ布三八五番地
精興社

東京都千代田區神田一ツ橋二丁目三番地

發行所

株式會社

岩波書店

電話(代表)九段(33)八四八六番
振替口座東京二六二四〇番

目次

自序

- 葉末集跋 明治二十三年六月
露團と自序 明治二十三年十二月
尾花集序 明治二十五年十月
枕頭山水序 明治二十六年九月
大水海に題す 明治二十六年九月
大水海凡例 明治二十六年九月
ひとり寝引歌 明治二十九年五月
雲の袖引歌 明治二十九年八月
新羽衣物語再刊序 明治三十一年三月
小萩集引歌 明治三十二年一月

調言長語序	明治三十四年九月	一五	
風流微塵 藏後篇	もつれ絲序	明治三十五年二月	一六
露伴叢書序	明治三十五年六月	一七	
潮待ち草序	明治三十九年三月	一九	
不藏庵物語題詩	明治三十九年十二月	二〇	
波流射梅集引	明治四十年五月	二一	
玉かつら引歌	明治四十一年一月	二二	
小品十種引	明治四十一年六月	二三	
露伴叢書再刊前編序	明治四十二年六月	二四	
露伴叢書再刊後編序	明治四十二年九月	二五	
日本文藝叢書序	明治四十四年二月	二六	
掌中山水序	明治四十四年七月	二八	
掌中山水凡例	明治四十四年七月	二九	
日本精英序	大正二年三月	三一	

日本精英凡例	大正三年三月	三三
洗心録序	大正三年七月	三六
立志立功序	大正四年一月	三七
幽秘記引	大正十四年六月	三八
蒲生氏郷平將門引	大正十四年十二月	三九
頼朝爲朝引	大正十五年四月	四〇
洗心廣録序	大正十五年六月	四一
龍姿蛇姿序	昭和二年一月	四二
幸田露伴集序	昭和二年十二月	四五
年譜	昭和二年十二月	四六
讞言長語再刊序	昭和十四年二月	五四
竹頭序	昭和十四年四月	五五
すゝき野序	昭和十四年七月	五六
芋の葉序	昭和二十一年八月	五七

骨董序 昭和二十一年十二月

論語悦樂序 昭和二十二年四月

游塵序 昭和二十二年七月

解題

芭蕉翁繪詞傳 明治三十六年四月

新刊山家集序 明治三十六年八月

狂言 明治三十六年十一月

狂言全集凡例 明治三十六年十一月

夢想兵衛胡蝶物語はしがき 明治三十八年四月

新群書類從緒言 明治三十九年四月

書目 明治三十九年五月

舞曲 明治三十九年十一月

歌曲 明治四十年六月

折々草引 明治四十一年四月

五九

六〇

六一

六五

六七

七〇

七二

七四

七六

七八

八一

九二

九四

狂歌 明治四十一年九月

九六

八犬傳 明治四十三年一月

九九

笑話家 明治四十三年七月

一〇一

芭蕉の文 明治四十四年

一〇三

椿説弓張月解題評説 明治四十四年二月

一〇五

新訂通俗三國志解題評説 明治四十四年三月

一一四

膝栗毛の首に題す 明治四十四年四月

一二九

新訂太平記解題評説 明治四十四年四月

一三二

近松淨瑠璃佳作集 明治四十四年

一四一

昔語質屋庫に題す 明治四十四年四月

一四四

西鶴佳作集第一冊卷首に題す 明治四十四年七月

一四六

開卷驚奇俠客傳解題 明治四十四年五月

一四八

其磧佳作集解題 明治四十四年五月

一五三

一休諸國物語解題評説 明治四十四年六月

一五五

- 譚話浮世風呂に題す 明治四十四年 一五七
 浮世床に題す 明治四十四年 一五九
 邯鄲諸國物語に題す 明治四十四年七月 一六二
 伊呂波文庫に題す 明治四十四年九月 一六五
 平家物語解題評説 明治四十四年六月 一六九
 題水滸傳 明治四十四年八月 一七三
 合刊兩月物語世間猿癩癖談に題す 明治四十四年八月 一八五
 馬琴佳作集に題す 明治四十四年 一八八
 八笑人 明治四十四年 一九〇
 海道記 明治四十四年九月 一九二
 回國雜記 明治四十四年九月 一九四
 大岡政談 明治四十五年一月 一九六
 保元物語、平治物語 明治四十四年 一九九
 枕草紙、つれづれ草 明治四十五年一月 二〇一

田舎源氏 明治四十五年五月

二〇三

七偏人 明治四十五年六月

二一〇

漢楚軍談 明治四十五年六月

二一一

椿説弓張月、賴豪阿闍梨
怪鼠傳、俊寛僧都嶋物語 大正元年十一月

二一四

西鶴文集 大正二年一月

二一七

南總里見八犬傳 大正二年十二月

二二〇

紀行文編 大正三年十一月

二二六

芭蕉翁繪詞傳再刊序 大正十五年七月

二三五

芭蕉翁俳句集再刊序 大正十五年七月

二三八

題跋

好色二人息子序 明治二十三年十二月

二四三

梅花詩集跋 明治二十四年三月

二四四

日本名勝地誌に題す 明治二十六年十一月

二四五

日本昔噺第八編序 明治二十八年三月

二四七

日清戰鬪畫報第九編序	明治二十八年六月	二四八
井原西鶴序附言	明治三十年五月	二四九
累卵之東洋三版序	明治三十一年十二月	二五〇
千山萬水序	明治三十二年一月	二五一
花鳥集序	明治三十二年五月	二五二
花籃集題詩	明治三十五年四月	二五三
鐵血宰相語錄序	明治三十五年九月	二五五
四季物語序	明治三十六年九月	二五六
鈴木松年	明治三十六年	二五七
寺崎廣業	明治三十七年	二五八
短詩	明治三十八年十二月	二五九
短詩みをつくし	明治三十八年十二月	二六八
初潮凡例	明治三十八年十二月	二六九
早蕨凡例	明治三十九年四月	二七〇

花柳の史	明治三十九年四月	二七一
異本山家集序	明治三十九年十月	二七三
一葉女史日記の後に書す	明治四十一年	二七八
俳句	明治四十一年十一月	二八〇
藝	明治四十三年三月	二八一
古曲の新釋につき	明治四十三年六月	二八二
怪談序	明治四十三年六月	二八七
動靜	明治四十三年十一月	二八八
歲時記	明治四十四年一月	二八九
女と水と	明治四十四年	二九一
伊能忠敬序	明治四十四年十月	二九二
演劇志	明治四十四年	二九四
古事記讀本序	明治四十四年十月	二九六
奇怪の譚	明治四十四年	二九八

一葉全集序 明治四十五年五月

乃木夫人 大正元年

敵 大正元年

色と空と 大正元年十一月

雲錦帖序 大正二年五月

文 大正二年五月

喜壽狂歌集序 大正二年

天理
農法燻炭栽培序附言 大正二年十二月

徒然草講話序 大正三年一月

柳と亭主人の句 大正三年

洒落本通鑑序 大正三年七月

人世行事 大正三年

古今辭世詩歌集に題す 大正四年九月

妙義山畫帖跋 大正四年

二九九

三〇二

三〇四

三〇六

三〇八

三一〇

三一

三一二

三一三

三一五

三一七

三一八

三一九

三二〇

光琳百圖題言	大正四年	三二一
支那大觀序	大正五年	三二二
大日本寺院總覽序	大正五年九月	三二五
日蓮全集序	大正六年四月	三二七
利用經書物語序	大正七年七月	三二九
眞筆版たけぐらべ序	大正七年十二月	三三三
支那三十畫卷跋	大正九年一月	三三五
譯本易筋經序	大正九年四月	三三七
芭蕉全集序	大正十年十二月	三四〇
先代萩の眞相序	大正十年十二月	三四三
大正大震災大火災序	大正十二年十月	三四六
和歌濃屋狂歌集序	大正十三年九月	三四八
ブルターク英雄傳概言	大正十四年	三四九
イカール佛國革命史序	大正十五年六月	三五一

掌中漢和新辭典序	昭和元年十二月	三五二
郷土史話序	昭和二年四月	三五五
群書類從に就て	昭和二年	三五八
參考伊勢物語序	昭和三年五月	三六三
好色一代男註釋序	昭和六年六月	三六五
新漢和辭典序	昭和六年九月	三六七
俳句文法序	昭和八年二月	三六九
寒月居士集序	昭和八年十一月	三七二
譯註和漢朗吟選集題言	昭和九年九月	三七四
在禪上人を悼む	昭和九年十二月	三七五
雲峯遺文序	昭和十年	三七七
國語漢字便覽序	昭和十年十一月	三七九
芭蕉翁繪詞傳序	昭和十三年十月	三八一
古淨瑠璃正本集序	昭和十四年十二月	三八二

芭蕉傳序 昭和十五年十一月

三八六

上代秀歌鑑賞序 昭和十五年十二月

三八九

題香書 昭和十六年十月

三九二

澁澤榮一翁寫眞傳序 昭和十六年十二月

三九三

香書題言 昭和十八年九月

三九五

都鳥新考序 昭和十九年一月

三九七

日蓮聖人靈蹟寶鑑序 昭和二十六年二月

三九八

識語

永明道蹟 明治二十九年八月

四〇三

漂流奇談全集を讀みて雜感を記す 明治三十三年九月

四〇四

浦島子傳寫本識語 明治三十五年

四〇九

武尊の墓碑 明治四十年十月

四一〇

中島棕隱隨筆 明治四十一年

四一三

石神問答を讀みて 明治四十三年六月

四一六

鳥居清滿 明治四十四年八月

舞曲夜討會我識語

幸若舞

桃花扇傳奇

樂律全書

一茶

抱一畫帖

西鶴題名の笛 昭和四年

山陽遺愛の瓢 昭和五年二月

光悦作の茶碗 昭和十五年一月

讀香字抄造沈香法

讀周石鼓文

碑文

小品

四二四

四三一

四三二

四三四

四三七

四三九

四四一

四四二

四四五

四四六

四四八

四七四

四九一